

ベトナム・ドンナイ省について

<基本情報>

ドンナイ省は、ベトナムの最大都市ホーチミン市の東部に隣接しており、大都市への近接性・交通の利便性から、日本企業をはじめ多くの外資系企業が進出している。

人口：約325万人（福岡県：510万人）
面積：5,907km²（福岡県：4,987km²）



<本県からの進出企業>

松尾製菓（田川市、製造業）、西日本鉄道（福岡市、物流・不動産）、山九（北九州市、物流）、サニーハウス（北九州市、製造業）、プラッツ（大野城市、製造業）、フジマックネオ（古賀市、製造業）、ピーエムティー（須恵町、製造業）、空研工業（福岡市、製造業）
トムラス（岡垣町、製造業）

<ロンタイン国際空港>

東南アジアのハブ空港を目指して、2040年にかけて3期に分けて工事が進められている。

第1期の開業は2025年で、年間利用旅客数2500万人、年間120万トンの貨物処理が可能となる予定。



<経済事情>

90年代から工業団地の整備が進められ、2021年時点で30の工業団地が整備されており、多くの海外大手製造業が進出している。日系企業も多く、ホーチミン日本商工会議所（JCCH）のドンナイ部会には118社が所属。

（ドンナイ省の経済構造）

製造・建設業：約6割、サービス業：約2割、農林水産業：1割未満

<近畿経済産業局との交流>

2013年4月、同局とドンナイ省人民委員会との間で、関西とドンナイ省の経済発展を促進することを目的とした協力文書を締結

2013年10月、同省工業団地管理局内に、関西企業をはじめ日系企業のワンストップ相談窓口として、「ドンナイ省関西デスク」を設置

ベトナムでのネットワーク形成に向けたコーディネート機能を育成する「現地コーディネーター人財育成」や、関西の高専教員等を派遣し、日本のものづくりを指導する「ものづくり人財育成事業」を実施